年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校 令和５年度（１学年用）　　教科　国語　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　　１学年　　A　組～　　B　組

教科担当者：　本領　弘之

使用教科書：　（　数研出版「言語文化」　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊に想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	単元名　近現代文１／古文１ 【知識及び技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できる。／歴史的仮名遣いについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品に表れているものの見方や感じ方をとらえ、内容を解釈できる。（共通） 【学びに向かう力、人間性等】積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の解釈を書くことができる。（共通）	近現代編（近現代文１） ・とんかつ 古文編（古文１） ・古文に親しもう ・宇治拾遺物語	【知識・技能】「とんかつ」という食べ物が各登場人物にとってどのような意味合いを持っているかを、文脈の中で正確に理解することができる。／音読に必要な文語のきまりを知り、「児のそら寝」を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 【思考・判断・表現】登場人物の心情の変化について、描写を基に捉えることができる。（共通） 【主体的に学習に取り組む態度】根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。（共通）	○	○	○	36
	定期考査			○	○		1
２学期	単元名　近現代文２ 【知識及び技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品に表れているものの見方や感じ方をとらえ、内容を解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の解釈を書くことができる。	近現代文編（近現代文２） ・羅生門	【知識・技能】下人のその後を、正確に文脈の中で解釈しようとしている。 【思考・判断・表現】下人の人物像と心情変化を正確に理解したうえで、自らの解釈を文章にすることができている。 【主体的に学習に取り組む態度】根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	○	○	○	39
	定期考査			○	○		1
３学期	単元名　漢文１ 【知識及び技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、作品に表れているものの見方や感じ方をとらえ、内容を解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】漢文に由来する身の回りの言葉を調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明できる。	漢文編（漢文１） ・訓読の基本 ・格言	【知識・技能】音読に必要な文語のきまりを知り、「児のそら寝」を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 【思考・判断・表現】文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】主体性をもって粘り強く課題に取り組むことができる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
							合計 108